



地域の親子が乳幼児期に「地域とつながる」ことに、私たちがこだわるワケ

子どもは地域の中で育つ。だからこそ、その子が安心できる地域をみんなでよってたかってつくりたい。保護者や養育者の負担を軽減する「サービス」や「AI相談」が全盛の今。けれどこどもにとっては、リアルな場で直接声をかけてもらったり、いろんな人に抱っこしてもらったり、他の子の遊びを見て刺激を受けたり、誰かと誰かの関係性をみる、という一見地味なような日々の営みがとっても大切。「居て」くれること、そういった空間をつくり続けていくこと、環境そのものに働きかけること。「こどものために」地域がどう「在る」か。我が街が試されている時代なんだろうと思っています。

妊娠期から切れ目なく、顔が見える関係性をつくりながら子育てすると、ひいてはその子のことを理解する人が地域に増えて、子どものセーフティネットにつながるのだ、と、確信持って伝えていきたいのです。

(NPO法人せたがや子育てネット代表理事 松田妙子)

この夏も学生インターン・ボランティアが活動！

2025年8月、毎年恒例となっている学生ボランティアの受け入れを各拠点で行いました。

区内の大学生インターン3名と、中高生10名から活動参加の希望があり、おでかけひろば ぶりっじ・まーぶる・おりーぶ・ぶれすの4か所と、8月2日・3日に開催された「せたがや区民まつり」の活動などに参加した学生さんたち。1日の目標を決めたうえで活動し、訪れた方々と交流しながら、地域の子育て支援について触れる貴重な機会となったようです。

これをきっかけとして今後もぜひ、区民版子ども子育て若者会議などでお会いできることを期待したいと思います！



▲区民まつりでのひとコマ

<せたがや子育てネットの動き 2025年6月～9月>

- ◆令和7年度保育サポーター養成講座開催(6月～7月、9月)
- ◆第7回こども天国@経堂コルティ(6/5)
- ◆世田谷区立幼稚園フェスタ2025@昭和女子大学附属昭和こども園(6/7)
- ◆すくすくメッセ烏山 おでかけひろば ぶりっじ@roka出店@烏山児童館(6/8)
- ◆里親研修(6/20)、里親演習(6/21)
- ◆ぶんぶくテラマチ2周年記念パーティー(6/27)
- ◆第1回区民版子ども若者子育て会議「@世田谷区子どもの権利条例始動！地域の取り組みをお互いに知ろう！」@下北沢タウンホール(8/8)
- ◆せたがやふるさと区民まつり出展@馬事公苑(8/2、3)
- ◆にこフェス おでかけひろば ぶれす出店@子ども・子育て総合センター(8/30)
- ◆社会教育実習、夏の体験ボランティア、インターン等学生ボランティア受け入れ(8月)
- ◆赤ちゃんとのふれあい体験授業@烏山中学校(9/2、3、9)
- ◆せたがやこどもフードパントリー(毎月第3土曜日)

<松田妙子代表理事 登壇・講師等>

- ◆静岡県島田市子育て支援ネットワーク(6/13)
- ◆東京科学大学留学生視察(6/16)
- ◆東京都ひろば研修(6/27)
- ◆せたがや子どもFun! Fan! ファンディング公開審査審査員(6/29)
- ◆保育サポーター養成講座(7/8、9/5)
- ◆シリーズ「はじめの100か月の育ちビジョン」をどう読み解くか「第4回 総集編！みんなで考える」(7/21)
- ◆調布市民生児童委員子育て支援部会(7/24)
- ◆世田谷区子ども・若者・子育て会議(8/8)
- ◆東京教育専門学校 令和7年度東京都保育士等キャリアアップ研修(8/19)
- ◆ソーシャルワークと子どもの権利条約勉強会(8/25)
- ◆幼児教育専門誌「遊育」にて連載中

(出席)

- ◆世田谷区地域保健福祉審議会
- ◆東京都男女平等参画審議会
- ◆各党政策懇談会

2025年度「保育サポーター養成講座」

計27名が修了しました

地域全体で子育て家族をサポートするため、ひとときお子さんを預かったり、遊びを見守る「保育サポーター」(女性労働協会認定)。本講座を受講することで、保育士資格を有しない方が、世田谷区ほっとステイ事業に従事することができます。

今年度も、6月～9月の全7回の講座を実施し、世田谷区ファミリー・サポート・センター子育て支援者養成研修受講修了者を含めて計27名が本講座を修了しました。毎回異なる専門家の方に講師を務めていただき、傾聴体験のワークや、子どもの気持ちになるワークなども取り入れた講座内容となりました。参加者からは「利用者さんとの向き合い方に理解が深まった」「世田谷区の親子の笑顔を増やしていきたい」といったご感想をいただきました。

2025年度 第1回 『区民版子ども若者子育て会議』を開催しました！

世田谷区の施策統合に合わせて、名称もプチリニューアル！

2014年に開始してから今年で11年目となった区民版子ども若者子育て会議。地域の子育てにまつわる課題について、子育て支援団体・行政・企業・個人といった枠や立場を超えて一緒に考え、幅広く対話する平場の会議として多様な人たちが参加しています。

今年度の初回のお題は、「世田谷区子どもの権利条例始動！ 地域の取り組みをお互いに知ろう！」。世田谷区は、平成13年12月に23区で初めて制定した「世田谷区子ども条例」を改正し、「世田谷区子どもの権利条例」として令和7年4月から施行しました。条例では具体的な子どもの権利を明記していますが、では大人たちの役割は・・・？ 子どもの権利とその考え方は、どうしたら広まっていくのか・・・？

会場現地にはたくさんの方々が駆けつけてくださり、オンラインも含めて約120人が参加（札幌や佐賀から参加の人も！）。3つのテーマで、自由闊達な意見交換が繰り広げられました。



意見交換1 「子どもの権利条例」を知ってもらうためには、誰にどう情報を届けたらいいか考えよう



子どもの権利条例では第5条から9条にわたり、子どもたちが考えた16の権利を規定し、「前文」には子どもたちの思いと大人へのメッセージが集約されています。

また、区が子どもたちと一緒に作成したパンフレットも完成！（画像左）絵に描いた餅にならないように、こうしたパンフレットも活用しながら、誰に、どう伝えていくとよい？のアイデアを出し合いました。

~~~~~

----- その場で出た意見の一例 -----

<誰に伝えたい？>

- ・自分の子ども ・保育園や学校の職員・保護者
- ・妊婦さんとパートナー ・幼児子育て中の家庭
- ・20代の若者 ・部活や地域のスポーツ指導者
- ・地域の居場所にかかわる人たち …等

<どうやって広める？>

- ・配布するだけでなくこれを元に語る場を作る
- ・教育機関や各施設の職員、指導者等の研修・勉強会
- ・スタンプのように貼れるものを作る
- ・絵本／子どもの声での解説集を作る
- ・生徒手帳に子どもの権利を印刷する
- ・ユースアンバサダーになってもらう …等



意見交換2 自分たちの活動は「はじめの100か月の育ちビジョン」のどこに当てはまっている？

こども家庭庁策定の「はじめの100か月の育ちビジョン」(幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン／画像下)。生涯にわたるウェルビーイングに影響する、妊娠期から小学校1年生頃までの最重要の時期に大切にしたいことがまとめられています。この時期に親子に接する私たちが、普段の活動においてどうビジョンに関わっているか、改めて見つめる時間となりました。

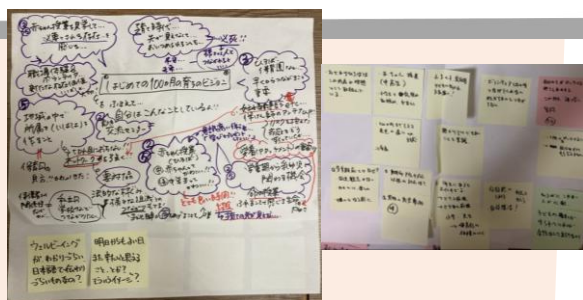


----- その場で出た意見の一例 -----

・4番目のビジョン「保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援」は、おでかけひろばの目的そのもの！

・ネウボラ、両親学級、おでかけひろば、保育園等は、3番目のビジョン『子どもの誕生前』から切れ目なく育ちを支える」もの

・「命の授業」「赤ちゃんふれあい体験授業」や職場体験・ボランティア、地域の居場所は、2番の「子どものウェルビーイング向上・アタッチメント形成」への寄与、5番の“社会の厚み”にあたる・・・等

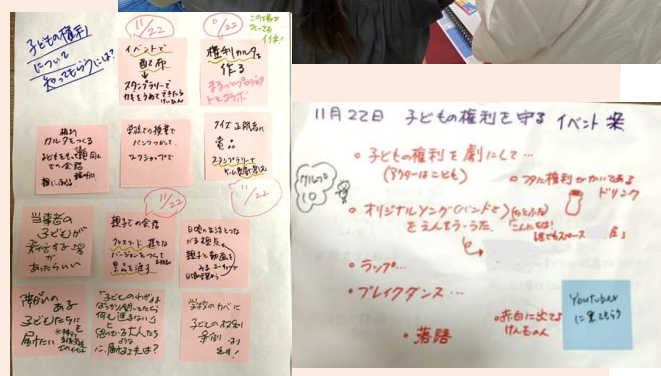


意見交換3 11月22日「子どものけんりフェス」の企画・アイデア募集！

世田谷区では、子どもの権利条約が国連で採択された11月20日に合わせて、子どもの権利条例を広め、一緒に考えていくためのイベントを11月22日に開催予定とのこと！
区民版会議の仲間たちでもブースを出すとしたらどんな企画があったらいいか？楽しいアイデアが飛び交いました。

----- その場で出た意見の一例 -----

- ・子どもたちに動画で「子どもの主張」をしてもらう
- ・スタンプラリーで景品を用意してゲーム感覚で楽しむ
- ・子どもの権利を劇にする・・・例えば、大人役と子ども役を逆転して演じてみるのも面白いかも！
- ・オリジナルソングの演奏
- ・ラップやブレイクダンス
- ・子どもの権利をテーマにしてクロスワードやかるたを作る・・・等



**11月22日(土) 10～15時「子どものけんりフェス」@三茶ふれあい広場 にて開催！
ぜひご来場ください♪**

世田谷区が11月に開催を予定している「子どものけんりフェス」に、“区民版子ども若者子育て会議”としてブースを出展する予定です！
今回の区民版会議で検討したアイデアをもとに、さてどんな企画で実施するか！？鋭意企画中です。お楽しみに。他にもさまざまな企画が予定されています。ぜひ誘いあってのご来場お待ちしております！

連載！～オール世田谷の仲間たち～

若者と咲かせるネットワーク・せたがや

私たちは、若者の居場所づくりに取り組む団体や個人、地域の方々をつなぐネットワークです。設立のきっかけは、2017年開催の「第2回せたがや子ども・子育て楽(学)会」における、若者支援について考える部会でした。当時実施した中高生世代へのアンケートでは、既存の居場所は当事者ニーズと必ずしも合致していない点や、認知度の低さなどが浮き彫りになりました。

そこで、若者たちが自分らしく在れる居場所を見つけられるよう、居場所づくりに取り組む方々をつなぐネットワークを立ち上げました。このネットワークは、若者の居場所づくりに関心のある誰もが参加し、交流・情報交換・学び合いなどを通じて、若者の居場所づくりの意義を高めていくことを目的としています。

大人が知り合い、つながることで、若者たちがこのまちで生き生きと開花できるように。合言葉は、「世田谷を若者のHOMEに」！今後ともよろしくお願いいたします。



先日は19回目となる交流会「子ども・若者総合計画を自分のものにしよう、みんなでつないでいこう！」を開催。官民含め約80名の多様な立場の参加があり、熱気に包まれる時間でした



◀ご興味のある方はぜひFacebookページをご覧ください

ヤングケアラーコーディネーター

ヤングケアラーコーディネーターは、家族のケアを担う子どもや若者への伴走支援、関係機関との協働、啓発や研修の実施、地域の社会資源開発などを通じ、多面的な支援体制の構築に取り組んでいます。

子育て中の方が体調を崩してやむを得ず、そのお子さんがケアラーとなる場合も少なくありません。ケア役割によって「子どもらしく安心して過ごせる権利」が奪われてしまわぬよう、行政手続きの補助、進路相談や情報提供、進学したい学校の見学や地域の居場所等へのつなぎ・同行など、その子の将来も見据えた幅広い支援を行っています。

情報提供やご相談等がある場合は、是非お気軽にご連絡ください。今後も子どもや家族一人ひとりの権利が守られる地域づくりを、せたがや子育てネットや地域の皆様とともに進めていきます。



▲ヤングケアラーコーディネーターの氏原さん(左)と星野さん



<ヤングケアラーコーディネーター連絡先>
setagaya.ycc@youngcarerjapan.com
電話: 050-1706-5807
(担当: 世田谷区子ども・若者部 子ども家庭課 子ども・子育て支援担当)

せたがやこどもフードパントリーからお知らせとおねがい

「せたがやこどもフードパントリー」は、せたがやの子どもの食の応援プロジェクトです。2020年4月14日～2025年9月末までに201日間494回の活動を通じて、のべ約36,000食を提供。長かったコロナ禍や物価高騰の影響もある中、今年も未就学から高校生世代まで約185家庭330人の子どもたちが利用しています。

子どもたちやそのご家族が健やかに過ごせますよう、みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。別添のご紹介チラシをぜひご覧ください！



世田谷の子育て環境にもっと安心を。賛助会員や寄付で活動を応援してください！

<クレジットカード決済によるお支払いができるようになりました！>

○賛助会員： 入会金なし、年会費 3,000円(個人) 10,000円(法人)

右記QRコードにアクセスし「会員→毎年/寄付→今回のみ」ボタンから「毎年」をクリック。「プラン」から会員種別を選んでお手続きを進めてください。

○ご寄付： 任意の金額でかまいません。どのような金額でも歓迎いたします！

右記QRコードにアクセスし「会員→毎年/寄付→今回のみ」ボタンから「今回のみ」をクリック。金額をご入力の上お手続きを進めてください。

※銀行振込の場合も、上記コングラントのページより受け付けています。



▲コングラント
寄付専用ページ